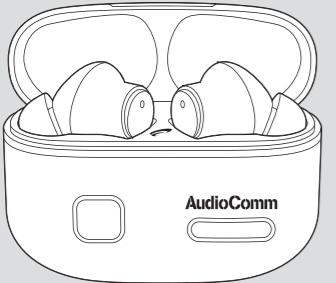


## 完全ワイヤレス集音器

型番：HP-WH500N 品番：03-1699



このたびは、AudioComm®完全ワイヤレス集音器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

本製品は医療機器(補聴器)ではありません。

## 免責事項 下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

## 主な仕様

●電 源	DC5V(USB-C給電)
●内蔵バッテリー	充電式リチウムポリマー電池 3.7V (イヤホン：40mAh 充電ケース：380mAh)
●通 信 方 式	Bluetooth標準規格 Ver.5.3
●対応プロファイル	HSP,HFP,A2DP,AVRCP,SPP
●対応コーデック	SBC,AAC
●変調方式/周波数帯域	GFSK／2.402～2.480GHz
●最大通信距離	見通し 約10m(Class2)
●最大登録可能台数	5台
●マルチポイント	同時待受 最大2台
●再生周波数帯域	20Hz～20kHz(A2DP)
●マイク指向特性/感度	無指向性/-38dB
●充 電 時 間	イヤホン：約1時間 充電ケース：約2.5時間 (いずれも残量ゼロからフル充電まで)
●連続使用可能時間	通話・音楽再生：約6時間 集音：約9時間 (通話・音楽再生は50%音量、集音は初期設定音量時)
●許容動作温度/湿度	温度：0～40°C 濡度：20～80%(結露なしにて)
●外 形 尺 法	イヤホン：幅26.1×高さ32.8×奥行17.9mm 充電ケース：幅62.2×高さ47.3×奥行24.8mm
●質 量	イヤホン：約4g(1個あたり) 充電ケース：約42g
●付 属 品	充電ケース、イヤーチップ(S・M・L Mは本体に装着済み)、専用充電コード、保証書、取扱説明書

\*最大通信距離、充電時間、連続使用可能時間はあくまで目安であり、使用状況によって異なります。

\*仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

\*Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

\*本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

\*本書で使用している図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

## 充電式電池について

絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。

●充電式電池(リチウムポリマー電池：イヤホン及び充電ケースに内蔵)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。

●充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

## 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

**危険** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

## ●充電式電池が液もれたときは、素手で触らない

- ・本製品(イヤホン及び充電ケース)には充電式電池が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。
- ・万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。
- ・液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけの症状があるときは医師に相談してください。

**警告** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

## ●心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは装着部位から22cm以上離す

- ・電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

## ●雷が鳴り始めたら、安全のためイヤホン、充電ケース及び充電コードに触れない

- ・感電するおそれがあります。

## ●万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに使用を中止する

- ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

## ●万一、内部に水や異物などが入った場合は、すぐに使用を中止する

- ・そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- ・販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

## ●分解、修理、改造しない

- ・火災・感電の原因となります。

## ●航空機内や医療機器の近くで使わない

- ・電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

## ●自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。また絶対に放置しない

- ・高温になると、危険を防止するため充電式電池が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因となります。

## ●イヤホンや充電ケース、充電コードの上に重いものをのせない

- ・破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

## ●充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- ・コードが破損して火災・感電の原因となります。

## ●付属の充電コード以外では充電しない

- ・火災や感電、機器の故障の原因となります。

## ●運転中は本製品及びスマートフォンを使用しない。運転中にスマートフォンの画面を注視しない。運転中以外でも、周囲の音が聞こえないと危険な場所(踏切や駅のホーム、車の通る場所、工事現場など)では、音楽などの再生音を本機で聴かない

- ・必ず道路交通法に従ってください。事故やけの原因となります。
- ・歩行中でも周囲の状況に十分に注意し、他者の迷惑にならないようにご注意ください。

## ●火の中に入れない

- ・誤って火中に入れると、発熱、破裂、発火の原因となります。

## ●充電ケースを他の製品に使用しない。また、充電ケースにイヤホン以外のものを入れない

- ・火災・感電の原因となったり、ショートして故障するおそれがあります。

**注意** 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

## ●小さなお子様の手の届かないところに保管する

- ・誤飲など思わぬ事故を招くことがあります。

## ●長時間、大音量で聴き続ける

- ・聴力障害などの原因となることがあります。

## ●浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない

- ・感電や故障の原因となります。

## ●ねれた手で操作しない

- ・故障や感電の原因となることがあります。

## ●暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない

- ・破裂、故障の原因となります。

## ●振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない

- ・落してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。

## ●充電コードを熱器具に近づけない

- ・コードが被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

## ●ズボンなどの後ろポケットに入れたり、かばんの中に入れたままにしない

- ・気づかず椅子などに座ったり、かばんに力が加わるなどして、变形や破損、故障の原因となることがあります。

## ●イヤホン及び充電ケースに、キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

- ・内蔵されている磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。

## ●シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない

- ・変形・変色の原因となります。

## ●自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない

- ・電波の影響で誤作動の原因となるおそれがあります。

## ●充電コードを抜くときは、コードを引っ張らない

- ・コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
- ・必ず端子部を持って抜いてください。

## ●日本国外では使用しない

- ・本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。
- ・国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

## Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内:Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

**【バージョンとプロファイル】** 本機は、Bluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル:HSP,HFP,A2DP,AVRCP,SPP)に対応しています。ご使用にあたっては接続相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。

\*すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。

\*同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。

**【通信可能範囲】** 本機の通信範囲は最大約10mですが、人体・壁・金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

**【セキュリティ】** 本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。

**【機器認定について】** 本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはがしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることが 007-AN0060 あります。本機は日本国内でのみ使用できます。

**【使用周波数と注意事項】** 本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。

\*ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。  
\*万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえ弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。  
\*そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

## 医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください

## ●使用中に気分が悪くなったりする場合は、ただちに使用を中止する。

●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。

●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視室(CCU)には持ち込みない。

●医療機器内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ローバーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。

●無線機器の使用が制限された区域では、医療機器による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。

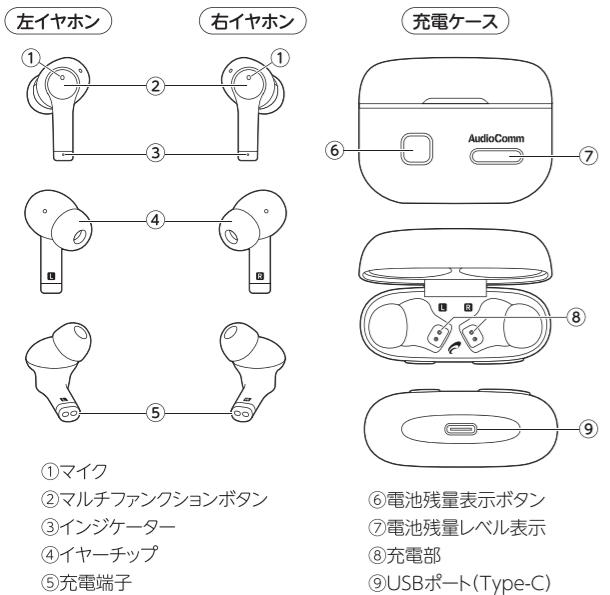
●その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。

●植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。

## TWSとロールスワップ機能について

TWS(True Wireless Stereo)は2つのイヤホンをBluetoothによりペアリングすることで、ステレオサウンドを実現する機能です。また、本機はロールスワップ機能があり、音源となる機器とペアリングした後は、左右いずれかのイヤホンを単独で充電ケースから取り出した場合でも、追加のペアリング

## 各部の名称



## マルチファンクションボタンの操作方法と装着のしかた

### 操作方法

マルチファンクションボタンはタッチセンサー式です。指先でタップエリアに軽く触れる(タップする)だけで、各種操作ができます。

- 操作例 1回タップ ..... 1回タップする  
2回タップ ..... 2回続けてタップする  
3回タップ ..... 3回続けてタップする  
4回タップ ..... 4回続けてタップする  
ロングタップ ..... タッチエリアに触れ続ける

### 装着のしかた

イヤホンは、イヤーチップ部を耳穴に入れ、イヤホン自体を回しながら耳ひだの中に軽く押し込み、安定する位置に装着してください。

## 電源のオン／オフ



ケースに戻すと自動でオフ(充電開始)

充電ケースからイヤホンを取り出すと、自動で電源がります。  
●インジケーター(緑)が1秒間点灯し、「Power ON」の音声ガイダンスが流れ、電源がります。

●イヤホンを2つとも取り出すと、双方が自動接続され、Bluetooth機器とのサーチモードになります(片方のみ緑／青の交互点滅)。

### イヤホンを充電ケースに戻すと、自動で電源が切れます。

●充電ケースに電池残量があるときは、イヤホンの充電が始まります。

### ヒント

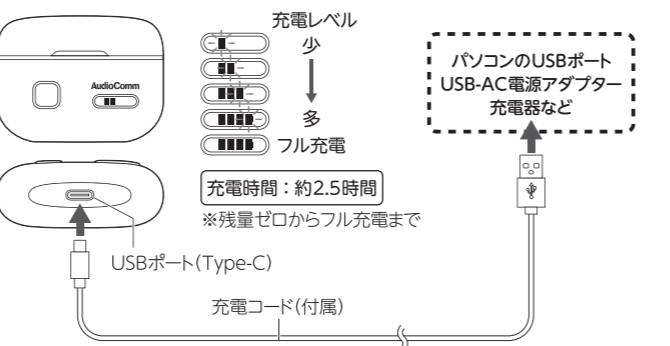
- 充電ケースからイヤホンを取り出した後、手動で電源を操作するには、マルチファンクションボタンをロングタップします(オン…約2秒間 オフ…約8秒間)。手動での操作は、左右個別に操作してください。手動で電源を切ったときは「Power OFF」の音声ガイダンスが流れます。
- イヤホンの電池残量が少なくなると、インジケーター(青)が点滅し、約3分おきに「Battery low」の音声が流れます。その後しばらくすると、電源が切れますので早めに充電してください。
- 充電ケースの電池残量表示ボタンを押すと、充電ケースの電池残量レベルを確認することができます(「充電のしかた」の充電レベル図参照)。電池残量が少なくなってきたら早めに充電してください。

## 充電のしかた

はじめて使うときは、充電ケース、イヤホンとともに十分に充電してください。

### 充電ケースの充電方法

付属の充電コードを使って図のように接続してください。充電が始まると、充電レベルに応じて電池残量レベルが表示されます。



### イヤホンの充電方法

充電ケースにイヤホンをセットすると自動で充電が始まります。



### ポイント

- 充電ケースの充電には、必ず付属の充電コードを使う(付属の充電コードを使用しないと充電ができない場合があります)。また、付属の充電コードを他の製品に使わない。
- 電源供給ができるUSBポートに直接接続する(USBハブなどを介すると正常に充電されません)。
- パソコンの省電力モード設定(スリープ設定など)を解除する。
- 家庭用コンセントで充電するときは、別売のUSB-AC電源アダプター(5V/1A以上)を使う。

### ご注意

- 充電ケース充電時は、フル充電になてもレベル表示のランプは消灯しません。フル充電になったら早めに充電コードを抜いてください。
- 許容動作環境(温度: 0°C~40°C、湿度: 20~80%、結露なし)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していなくても、途中で終了することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社修理ご相談センターにご連絡ください。
- 十分に充電したにもかかわらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
- 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなることがありますが、何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。

## 集音機能について

本機には集音機能(テレビの音声や人の声など、周囲の音を聞きとりやすくする機能)があり、工場出荷時の初期設定はオン(有効)です。

### <電源を入れた直後>

Bluetooth接続しない状態が約15秒間続くと、集音機能が有効になります(音声ガイダンス: Hearing ON)。

### <音楽などの再生中>

再生音の出力が優先されます(各種操作も、音楽再生時の動作になります)。

### <再生一時停止時>

一時停止状態が約10秒間続くと集音機能が有効になります(音声ガイダンスなし)。

### <集音機能のオン／オフを切り換えるとき>

マルチファンクションボタンを約2秒間ロングタップしてください。

※再生中の場合は、マルチファンクションボタンを1回タップして一時停止させた後、約2秒間ロングタップしてください。操作に応じて「Hearing ON」または「Hearing OFF」の音声ガイダンスが流れます。

### ヒントとご注意

- 音声ガイダンスは、状況により流れないことがあります。
- 集音機能が有効になるまでの時間は、前後することができます。
- 集音機能のオン／オフがうまくいかないときは、イヤホンを一度充電ケースに戻してから、再度取り出してください。

## ペアリングのしかた

ペアリングとは、本機とBluetooth機器(相手側機器: スマートフォンなど)を相互に初期登録する操作のことです。

はじめての機器と接続するときは、必ずペアリングしてください。

- 1 イヤホンを2つとも充電ケースから取り出し、  
相手側機器に近づけます(1m以内)。

- イヤホンどうしがペアリングされ、統合してサーチモードになります。
- 必ず2つとも取り出してペアリングしてください。片方だけペアリングすると、もう片方のイヤホンが正しく認識されないことがあります。
- 操作の途中で集音機能が有効になったときでも、ペアリングは可能です。そのままステップ②に進んでください。

- 2 相手側機器のBluetooth設定画面で本機を登録します。

### Bluetoothの設定画面を開く

iPhone : [設定]→[Bluetooth]

Android : [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書などを参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

### 本機を登録する

相手側機器のBluetooth設定画面で本機の名称「HP-WH500N」が表示されたら、それを選択します。パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機器によってはご自身で設定したパスワードが必要な場合があります。

### 本機との接続が完了すると…

「Connected」の音声ガイダンスが流れて本機を使用できる状態になります(インジケーターは消灯します)。相手側機器で再生などを操作をしてください。機器や使用アプリによっては本機のマルチファンクションボタンで再生を始められる場合もあります。

### ご注意

- 本機はBluetooth標準規格Ver.5.3(プロファイル: HSP、HFP、A2DP、AVRCP、SPP)に対応しています。相手側機器によりプロファイルの選択が必要な場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 本機または相手側機器が別の機器と接続中は、ペアリングできません。既存の接続を解除したうえで、ペアリングしてください。
- ペアリングしているにもかかわらず、しばらく経っても相手側機器で本機名が表示されないときは、両イヤホンを充電ケースに戻し、最初からやり直してください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないか、本機または相手側機器の電池残量が減少していないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直し、それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。

## 集音機能有効時の操作(マルチファンクションボタン)

### 左イヤホン

1回タップ 音楽などの再生→一時停止(着信時は電話に出る)

2回タップ 左イヤホンの音量を下げる

右イヤホンの音量を下げる

3回タップ 左イヤホンの音量を上げる

右イヤホンの音量を上げる

4回タップ 室内モード([Indoor mode])と  
屋外モード([Outdoor mode])を切換

ロングタップ(約2秒間) 集音機能オフ  
(もう一度ロングタップすると集音機能オン)

ロングタップ(約8秒間) 左イヤホンの電源を切る

右イヤホンの電源を切る

- 音楽再生中や通話中は集音機能の操作はできません。
- 音楽再生中及び通話中の動作は上記とは異なります。それぞれの項目をご参照ください。
- 音量は5段階で調節でき、2回タップ(3回タップ)するたびに、1段階ずつ小さく(大きくなります)。変更時には設定に応じた音声ガイダンスが流れます。
- 集音機能が有効な状態では、左右個別に音量を調節できます。
- 室内モードと屋外モードは、ノイズ低減レベルが異なります。状況に応じて使い分けてください(電源を入れた直後は室内モードとなります)。
- 1回タップはスマートフォンなどとBluetooth接続中のみ有効です。

## 音楽を聴くときの操作(マルチファンクションボタン)

音楽再生時の音量調節は、左右同一です(左右独立ではありません)。また、片方のイヤホンだけ使っているときは、音量操作はできません。

左イヤホン 右イヤホン

1回タップ	再生→一時停止(着信時は電話に出る)
2回タップ	音量を下げる
一時停止後 約2秒間ロングタップ	集音機能オン (もう一度ロングタップすると集音機能オフ)
ロングタップ (約8秒間)	左イヤホンの電源を切る
	右イヤホンの電源を切る

●音量は2回タップするたびに1段階ずつ小さく(大きくなります)。

●音量最大時は電子音が鳴ります。

## 通話に関する操作(マルチファンクションボタン)

Bluetooth接続中に着信があると、マルチファンクションボタンにより以下の操作ができます。

左イヤホン 右イヤホン

着信中に1回タップ	電話に出る
通話中に1回タップ	電話を切る
着信中にロングタップ (約3秒間)	着信を拒否する
通話中にロングタップ (約8秒間)	左イヤホンの電源を切る
	右イヤホンの電源を切る

●通話時の音量操作はできません。

●電話を切ると、元の状態に戻ります。

## マルチポイント機能を使う

2台のスマートフォンを同時に待ち受けることができます。以下の手順で設定してください。

- 1 1台目のスマートフォンと本機をペアリングします。

その後、スマートフォンのBluetooth機能をOFFにします。

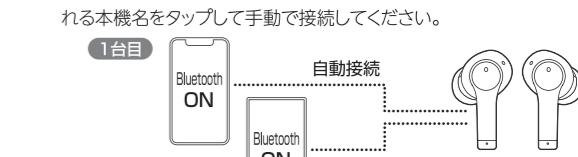


- 2 2台目のスマートフォンのBluetooth機能をONにして、本機とペアリングします。その後、2台目のスマートフォンのBluetooth機能もOFFにします。



- 3 本機がサーチモードになっている状態で、2台のスマートフォンのBluetooth機能を順にONにします。

●2台のスマートフォンに自動接続されない場合は、スマートフォンに表示される本機名をタップして手動で接続してください。



### ヒントとご注意

- どちらかのスマートフォンに着信(呼び出し)があったときは、マルチファンクションボタンを押すとその電話に出ることができます。
- 着信応答などの操作は、機種により異なる場合があります。
- 使用環境によっては、接続が不安定になることがあります。
- この機能が使えるのはスマートフォンのみです。パソコンやゲーム機との同時接続はできません。
- 本機と接続した2台のスマートフォンを3者間接続などで同時に使うことはできません。
- この機能はすべてのスマートフォンでの動作を保証するものではありません。

## お手入れのしかた

本機の表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。